

通 教 月 報

診 療 情 報 管 理 研 究

令和 4 (2022) 年 4 月号

編 集
発 行 人

武田 隆久

〒102-8414 東京都千代田区三番町 9-15

一般社団法人 日本病院会 教育部教育課

TEL 03-5215-6647 (受講生専用)

FAX 03-5215-6648 (受講生専用)

URL <https://jha-e.jp/>

受付時間 10:00~17:00

(ただし、土・日・祝祭日、年末年始は除く)

発行日 毎月 1 日



学び続けることの大切さ

稲垣 時子

公立能登病院 診療情報管理室 室長補佐
腫瘍学分類コース小委員会 委員

仕事と生活の時間をやりくりしての診療情報管理の勉強、お疲れ様です。基礎課程の方々、専門課程の方々は一認定取得までもう少し頑張ってください。現在学んでいる内容が基礎となります。土台となる基礎をしっかりと押さえてください。

診療情報管理士認定がゴールではなくスタートラインに立つこととなります。どんな診療情報管理士になりたいかをイメージして、1年目、2年目と具体的に目標をたて前進していただきたいと思えます。

勤務する病院の規模により、専門病院であるかどうかにより、実務で必要とされる知識の習得が更に必要となるかもしれません。令和4年診療報酬改定では、診療録管理体制加算の要件見直しがありました。400床以上の保険医療機関については、専任の医療情報システム安全管理者の配置と職員を対象とした情報セキュリティの研修が必要です。また、DPC様式1の項目が追加となりました。更に、令和2年改正個人情報保護法の適応は令和4年4月1日です。何が改正され、新しく追加となったことは何か情報を扱う診療情報管理士は知っておく必要があります。診療情報管理士認定後に必要な知識の習得、アップデートのために日本診療情報管理学会では生涯教育研修会を開催しています。コロナ渦ということでWeb研修、オンデマンドとなっている場合は時間の調整が付きやすいので、利用しないという選択肢はありません。

また、専門的な知識を深めたいという場合は、診療情報管理士付加コースとしてDPCコース、腫瘍学分類コースがありますので受講してみてください。腫瘍学分類コースは、がん登録をされる方のみならず、DPC様式1作成に関わる方、NCD登録を担当される方にお勧めです。臓器別の講師は、がん診療の最前線の医師であり、ASCO (American Society of Clinical Oncology (米国臨床腫瘍学会)) でのトピックス等、最新のがん治療のお話を聞くことができ、各部位のがんへの理解が深まります。

学んだ知識が仕事の厚みと深さとなり、職場に必要な人材となります。多くの方が診療情報管理士指導者となり、先輩方からの診療情報管理のバトンを受け継ぎ次に繋いでください。次世代の診療情報管理士が続々と現れてくださることを楽しみにしております。

